

鏡川流域パートナーシップだより No.196 R7.1.30



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

鏡川への熱い想いが止まらない！「鏡川流域関係人口交流会 in カラオケ チミ・ボンサ」

1月18日(土)に「鏡川流域関係人口交流会 in カラオケ チミ・ボンサ」を開催しました！

会場は高知市天神町のカラオケ店「カラオケ チミ・ボンサ」。鏡川のほとりに位置し、まちのコイン「ぼっちり」のスポット登録や鏡川流域パートナーシップのノベルティグッズの受け渡しなど、様々な面から鏡川流域関係人口の創出に共に取り組んでいます。



カラオケ チミ・ボンサのオーナー・田中照久さんの SNS には、鏡川の風景写真が多数掲載されています！お店の目の前を流れる鏡川の日常風景が紹介されており、見ただけで癒されます。



カラオケ チミ・ボンサでは、屋上 BBQ や楽器レンタル、宿泊、会議室利用など、鏡川を眺めながら様々な楽しみ方ができます♪



お店の詳細はQRコードから！

「ぼっちり」のスポットは随時募集中です！鏡川流域関係人口の取組と一緒に盛り上げませんか？

今回の交流会には、鏡川流域関係人口講座受講生を中心に、日頃から鏡川と関わりを持つ多様な人が集まりました！これまでの鏡川流域関係人口の取組はもちろん、それぞれが持ち寄った鏡川に関する話題をもとに交流しました！



18日(土)の昼間に実施したイベント「とさやま歩きを、もっと楽しく、健康的に」の写真をモニターに掲示し、振り返りを行いました！

1期生3名、2期生3名、3期生1名が参加。毎週木曜夜のオンライン交流会を通じて関わりを深めてきた東京都や奈良県のメンバーも参加し、鏡川に関する思い出や情報を話しながらひとときを過ごしました。鏡川への熱い想いを語り出すと止まらない人が多数…！この関係性が今後の鏡川流域関係人口や環境保全の取組につながっています！！

今回参加できなかった人も、「ぼっちり」で関わりを可視化！22名が関心を寄せ、交流会を盛り上げました！



「楽しそうな交流会ですね。ぼっちりのスポットで交流会が開かれるのがいいですね。遠方のためいけません、素晴らしい会になることを応援しています」
「リアル交流会は楽しいですね。新しい発見があったりして。定期的なイベントになるといいですね」
「一つのことをきっかけに一堂に会するっていいですね」

当日参加できなくても、「自分にできること」を考え、自分らしい鏡川流域への関わりを作っています！



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながり、山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

「まちのコイン」のインストール



iPhone Android

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>